

海外金融機関が認めたサイバーセキュリティ企業が登場！ 世界最大級のホワイトハッカー集団を擁するレイ・イージス レイ・イージス・ジャパンが「FIT2023」に出展決定

展示場ブース内で「ダークウェブ検索サービス」のご紹介も予定

株式会社レイ・イージス・ジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役 青木 登、以下「レイ・イージス・ジャパン」）は、2023年10月26日（木）から27日（金）に東京国際フォーラムにて開催される日本金融通信社主催の国内最大の金融機関のためのITフェア「FIT2023 金融国際情報技術展」に出展いたします。

今年は脆弱性診断、モバイルアプリ診断、ペネトレーションテスト、プラットフォーム診断などをご案内いたします。また、新しくサービス開始をした、ファストペネトレーション、マルウェアを使った内部ペネトレーションテストなど新しいメニューも用意しておりますので、是非お立ち寄りください。



今年はブース内での「ダークウェブ検索サービス」のご案内予定

ダークウェブ上で情報流通が活発化している現代社会において、お客様の企業情報が漏洩していないか心配ではありませんか？当社は、ダークウェブ上での情報漏洩のリスクを調査し、お客様の企業情報がダークウェブ上で取引されているなどの情報を提供します。2023年10月26日（木）から27日（金）の期間中、ダークウェブ検索サービスのご紹介を行う予定です。また、AIを利用した脆弱性診断のほか、次世代セキュリティサービスである「Ray-SOC サービス」と「ファストペネトレーション」についてもブース内でご紹介いたします。

なお、展示会場では、それぞれのサービスについて同社担当者がそのサービスの内容についてご案内する予定です。

【開催概要】

開催日時：2023年10月26日（木）～27日（金） 10：00～18：00（両日とも）

会場：東京国際フォーラム

主催：日本金融通信社（ニッキン）

参加費：無料

イベントサイト：<https://fit-tokyo.nikken.co.jp/>

脆弱性診断やペネトレーションテストなどもご紹介

【AI を利用した脆弱性診断】

高度化、無差別化が進むサイバー攻撃の脅威は、全ての組織、企業にとっての大きなリスクです。株式会社レイ・イージス・ジャパンでは、サイバー攻撃の脅威に対抗するために、高品質、高速、効率的な Web アプリケーション脆弱性診断を AI や独自の IT ツールを使い、リモートからサービスにより、廉価な費用でご提供しています。

【ペネトレーションテスト】

ファストペネトレーションは、お客様のシステムとネットワークのセキュリティをテストし、脆弱性を特定するための高度なセキュリティサービスです。

レイ・イージス・ジャパンのセキュリティエンジニアが、攻撃者に狙われやすいインターネットに面した機器を対象に、悪用できる脆弱性が露出していないか、侵入が可能かのテストを行い、システムの脆弱性を明らかにします。これにより、お客様ご自身でセキュリティの強化に取り組む力を高めます。



当日は、同社の説明員がダークウェブ検索サービスの他、各サービスについてご説明いたします。

株式会社レイ・イージス・ジャパンについて

セキュリティ診断サービスやセキュリティコンサルティングサービスを提供する目的で、株式会社アリス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小林 賢治、以下「アリス」）及び、RayAegis Information Security（本社、台湾、新北市新店区、責任者 格江、以下「RayAegis」）との合併で設立されました。経験豊富で技術力の高いホワイトハッカー300名以上を擁するRayAegisとともに、国内においてAIを利用した独自開発ツールを活用し、高度なWebアプリケーション脆弱性診断やペネトレーションテスト、TLPT、DDoS演習などのセキュリティサービスを短期間かつ効果的な価格で展開しています。

【会社概要】

社名：株式会社レイ・イージス・ジャパン

本社所在地：東京都新宿区西新宿7-22-33 Polar 西新宿 4F

代表取締役：青木 登

事業内容：サイバーセキュリティ・サービス

設立：2019年10月10日

HP：<https://www.rayaegis.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社レイ・イージス・ジャパン：浦川 TEL：携帯 080-3918-0807 MAIL：info@rayaegis.co.jp